

# 平成24年度 学校経営の改革方針

三重県立いなべ総合学園高等学校

## I 目指す学校像(基本理念)

「生徒一人一人の能力の伸長」と「教職員の達成感」を常に追い求め、地域の人々に信頼される学校を目指します。

《 本校の指導指針 「時を守り、場を清め、礼を正す」 》

## II 現状と課題

- 1 北勢地域唯一の総合学科高校として11年間歩んできた成果を踏まえ、本校独自の学びのシステムについて検証し、一段の飛躍を目指す必要があります。
- 2 多様な生徒のニーズに対応し170科目以上の授業を開設していますが、きめ細かい学習指導を通してさらに生徒の学力向上を目指すとともに、生徒の学習習慣の確立や学習意欲の向上に向けて引き続き着実な取り組みが求められています。
- 3 「産業社会と人間」、「I V Yタイム」等の授業を通してキャリア教育を体系的に進め、生徒自らの主体的な進路選択を実現していますが、近年の厳しい社会情勢や環境の変化に対応できるよう、情報の共有化とガイダンス機能の強化など個々の生徒支援体制を確立する必要があります。
- 4 明るく挨拶を交わせる生徒が多いなかで、基本的な生活習慣や規範意識が弱い生徒も見受けられ、保護者・地域との連携のもとに全職員で粘り強く指導するとともに、幅広い分野で積極的に人権教育を進める必要があります。
- 5 恵まれた設備のもと、生徒の健全育成と学校活性化に大きな役割を果たす部活動は、各部とも様々な場面で活躍しています。さらなる活性化を目指します。
- 6 地域に開かれた学校として公開講座を開催しています。授業公開など今後も幅広い活動を通じて地域の期待に応えていく必要があります。

## III 中長期的な重点目標

- 1 多様な個性や進路希望を持つ生徒一人一人の自己実現のために、総合学科の特性を生かしたきめ細かい学習指導を行い、生徒の学習習慣の確立と学力・資格取得の向上に向けて着実な取り組みを行います。
- 2 生徒一人一人の基本的な生活習慣や規範意識のより一層の確立を目指して、保護者・地域との連携のもと、全職員で粘り強く指導を実施していきます。
- 3 生徒の健全育成にむけて、運動部・文化部・生徒会活動の一層の活性化を図るとともに、自ら主体的で健康な生活ができる力やものを大切にする心の育成をはかります。
- 4 北勢地域唯一の総合学科高校として、新教育課程のもと一段の飛躍を目指すとともに、学校経営の改善を通じて組織力の向上に努め、常に地域に開かれた学校として、積極的に地域の生涯学習の拠点としての役割を果たします。
- 5 防災教育を充実し安全・安心な学校を目指すと共に、教職員が働きやすい職場を目指し改善を図ります。

#### IV 本年度の行動計画

1 生徒の自己実現のために総合学科の特性を生かしたきめ細かい学習指導を行う、学力の向上に向けた取り組み。

○学習習慣を身につけさせ、生徒の学習意欲を高めることにより、一人一人の学力の底上げ・向上をめざします。

- ・学習意欲を高める雰囲気作り等日々の授業を大切にすることで、授業規律の確立や学習効率を高める。
- ・提出物の期限厳守の徹底などにより家庭学習の習慣化を図り、基礎学力の定着を図る。
- ・日々の授業を通して定期考査や実力テストにむけて計画的に学習できるように指導を行う。
- ・個々の生徒に合わせた指導の工夫に努め、学力や進路希望に応じた課外授業、補習と面談の充実を図ることにより、入学・入社試験に対応できる学力をつける。
- ・課外授業・小論文対策・就職試験対策・入試問題演習などを年次・進路が連携して実施する。就職問題集の定期的課題提出を行う。

○模擬試験をはじめ各種検定試験の受験や資格取得をさらに奨励します。

- ・「産業社会と人間」や「IVY タイム」等を活用して資格を生かした進路指導ができるよう、漢字検定、英語検定、商業系の検定等の指導充実を図る。また、模擬試験の受験者数の増加を図る。

○教員の資質向上を目指します。

- ・各教科で研究授業や教材の開発を進め、授業の質の向上を目指す。
- ・平成25年度実施の新カリキュラムを完成し、授業研究に取り組んで行く。

○図書館の有効利用を推進します。

- ・年間図書貸出冊数 5000 冊以上など図書利用を奨励するとともに、「調べ学習の場」として図書館活用の機会を増やす。

○総合学科の特性を生かして、生徒一人ひとりの進路意識の高揚に努めます。

- ・科目選択・進路選択におけるシラバスの効果的利用、および「産業社会と人間」や「IVY タイム」のさらなる活用により、生徒個々の希望と能力・適正に合わせた面接指導を重ね、各自の進路を真剣に考えさせる指導の工夫を目指す。
- ・進路指導室の活用を奨励すると共に、進路指導部・キャリアが連携して社会人講話などガイダンスの質を高め、各種の情報提供に努める。進学においては大学の各種入試情報を提供して面接や推薦入試対策の一助とする。また就職においては、挨拶とマナー・服装に気をつけ、コミュニケーション能力と基礎学力を身につけさせる。
- ・大学・企業見学等の充実を図る。また図書館で進路の特設コーナーを設置し、資料収集に努める。
- ・進路ガイダンス・保護者会・各種通信文などを通して、生徒・保護者との連携をさらに図る。

○より効果的な学習指導と進路希望実現を目指します。

- ・学力向上などにむけて、模試の活用に努める。
- ・センター試験受験者の増加を図り、国公立大学進学者数を伸ばすとともに、学校推薦就職者内定率 100%を目指す。

2 生徒一人一人の基本的な生活習慣や規範意識の確立を目指す取り組み

○全職員の指導により、基本的な生活習慣の確立を図ります。

- ・規則正しい学校生活を送り、遅刻・欠席者数の減少を目指すと共に、規則・時間を守る指導を徹底して行うことで、学校や社会全体のルールを遵守させ、規範意識を身につけさせる。
- ・服装や髪型指導等、各分掌・年次が連携して密な指導を行うとともに、授業や職員室入室の際、身だしなみを整えさせ、社会人としての常識をつけさせる。
- ・校門指導、昇降口指導、登校指導を協力して実施すると共に、日常から誰とでも自然に挨拶ができるよう指導を行う。
- ・登下校時の自転車の安全運転指導など交通マナーの向上を図り、交通事故の防止を図る。
- ・図書館利用のルールとマナーを通して、生徒の社会性の向上に努める。

- 3 生徒の健全育成、特に自ら主体的で健康な生活ができる力やものを大切にする心の育成への取り組み
- 生徒相互の人間関係の育成をはかり、また生徒の自主性・自治能力を高めることで学校生活の活性化を図ります。
    - ・学校行事や部活動を通して、根気強くやり抜く意思や態度、そして自己と他者を互いに高めあう生徒相互の人間関係の育成を図る。
    - ・生徒会を模範的組織として機能させ、行事の実施とその情報伝達等自主的活動能力の向上を図る。
  - 自身の健康に目を向け、主体的で健康な生活ができる力を育てます。
    - ・年間を通して定期的に保健通信を発行して、健康を守るための知識を啓発していく。
    - ・タバコやドラッグ、HIVについて課題研究を行い、つたわかば祭や全体集会等で発表する。
    - ・「十代の妊娠」の問題点について、LHRの時間等で学習会を開く。
    - ・保健部や教育相談が連携し、心の悩みのある生徒の指導に努める。
  - 環境美化の推進に努めるとともに、「ものを大切にする心」の育成を図ります。
    - ・日常の積極的な清掃指導の徹底を図ることで校内の美化に取り組む。
    - ・保健部・各年次の協力のもと、ゴミの分別への啓発活動を行い、その習慣を身につけさせる。
    - ・保健環境委員会活動を通じて環境美化の活性化を図る。また、年度末にアンケートをもとに改善活動に努める。
- 4 新教育課程のもと一段の飛躍を目指すため、学校経営の改善を通じて組織力の向上に努め、また地域に開かれた学校をめざす取り組み。
- 学校への理解と信頼を深めるため、保護者・地域に向けて積極的な情報発信に努めます。
    - ・学校案内、ポスター、I V Y通信の内容、HP等の充実を図ると共に、保護者会等あらゆる機会を通じて情報公開・情報発信を積極的に行う。学校HPについては毎月更新を図る。
    - ・進路情報の公開に向けて、進路説明保護者会への参加者数8割以上を目指すことにより、家庭と連携を取りながら保護者との信頼関係の構築を図る。
    - ・絆ネットの生徒や保護者登録率を85%以上とし、学校行事や緊急連絡等の発信を行う。
    - ・夏季学校説明会で参加数800人を目指すと共に、学校説明会の効果をアンケートにより確認する。
    - ・秋季学校説明会で模擬授業を実施し、中学生に本校への関心を高める。
  - 地域の高等学校として、積極的に地域とつながり、地域開放を図ります。
    - ・保護者の進路指導室利用促進にむけて、保護者会で案内していく。
    - ・各学年毎に生徒全員により学校周辺の校外清掃を行う。
    - ・「学びのプラザ」を年間を通して開講し、受講者数の増加を目指す。
  - より効率のよい組織づくりに努めます。
    - ・北勢地区唯一の総合学科高校として、新学習指導要領に合わせ新教育課程の編成にむけた大学入試に関する情報収集に努力する。
    - ・各年次や分掌の連携を図り、情報共有や広報活動を互いに努めるとともに、校内委員会・研修会等で意見交換をし、よりよい組織づくりに努める。
  - 情報インフラの安全性を高め、セキュリティと情報管理の強化を図ります。
    - ・校内情報メディアの研修会を行い、ネットワークの安定稼働と個人情報保護などの情報関連意識の向上を図る。
5. 防災教育の充実と職場環境の改善を目指す取り組み。
- 様々な危機に対応できる体制の強化と充実に努め、安全・安心な学校づくりに努めます。
    - ・防災ノートを活用し、自分の命は自分で守る防災教育を行う。また、有事を想定した防災訓練を実施する。
    - ・生徒の安全を守るため、緊急地震速報の確認とともに第1次避難から第2次避難等を安全に実施できるようにする。
    - ・体調の悪い生徒等が気軽に訪れることができる保健室を目指す。
    - ・各年次や分掌が連携し、さまざまな場面で障害を持つ生徒等への配慮や教育相談に努める。
  - 教職員の健康管理について、意識の向上を図ります。
    - ・会議の効率化等を図ると共に、過重な労働や総勤務時間の縮減化に向けて様々な場で検討し、改善点を見いだしていく。